

「奈良県教育振興大綱」に示されている「施策の方向性」

学びのステージに応じた教育のあり方

乳幼児期の教育

基礎を培う 乳幼児期における保育・教育の充実

○家庭教育の支援

・家庭教育支援のネットワークづくり

家庭教育支援の更なる充実を目指し、関係機関、関係団体との連携、協力を図るための連絡会議の設置など、ネットワークづくりを促進する。また、地域人材による家庭教育支援チームの普及とアウトリーチ活動の充実を図る。

・親の育ちを応援する学びの機会の充実

「元気なならっ子約束運動」の実施、「親学サポートブック」の活用、「家庭教育・家庭の日」の普及などの取組により家庭教育を啓発するとともに、家庭教育研修の実施や講師情報の提供などにより親の学びを支援する。

○小学校教育との円滑な接続

接続期のカリキュラムの編成を目的とした、幼稚園教員等と小学校教員対象の研修会等を計画・実施し、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指す。

○教育内容・教育方法の充実

・就学前教育の推進体制の構築

幼稚園・保育所・認定こども園では、幼児教育の質の充実を図るため、県の関係部課による連絡調整会議を設けて連携を図りながら、有識者や関係者からの意見を得る就学前教育関係者協議会を設置し、就学前教育を推進するための体制を整備する。

・「奈良県幼児の運動能力等実態調査」の実施

幼児の運動能力等の実態を調査分析し、幼児の健やかな心と体づくりを推進する。

・「就学前教育プログラム『はばたくなら』」の普及

科学的な知見を活用し、就学前教育の内容を充実させ、乳幼児の心身の発育・発達を促すための適切な遊びなどについて専門的観点から効果的な手法を掲載した「就学前教育プログラム『はばたくなら』」の普及を図る。

義務教育

学ぶ力と意欲を伸ばし、 豊かな人間性を育む学校教育の推進

○教育内容・教育方法の充実

・学力向上フォーラムの実施

研究指定校において、確かな学力の育成に係る実践研究を進め、研究成果の発表など、その成果の普及を図る。

・学力向上支援サイト「まなび一奈良」の活用

「全国学力・学習状況調査」から課題の見られた問題等をWeb配信するとともに、小学生がつまずきやすい内容の授業モデル等の動画を作成・配信し、学習指導を支援する。

・小・中学校合同の授業研究の推進

同じ中学校区の小・中学校教員など、異なる校種の教員が一緒に参加する公開授業や授業研究等の研修を実施し、異校種間の円滑な接続とともに、教員の指導力向上を図る。

○教育セミナーの実施

奈良県教育の課題解決を目指し、県立教育研究所員、研究校等が行った実践的研究の成果を発表し、本県教育の推進に役立てる。

○「家庭学習の手引」、「進路の手引」等の配布・活用

子どもに家庭で主体的に学習する習慣を身に付けさせるため、「家庭学習の手引」を小学1年生とその保護者に配布し、活用を促す。また、高等学校への円滑な接続のため、「進路の手引」を中学1年生に配布し、活用を促す。

特別なニーズに対応した教育の推進

○インクルーシブ教育の推進

・障害のある子どもに対する校内支援体制の整備

全ての学校において、個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成を促進するとともに、教職員の特別支援教育に関する専門性の向上を図るための研修等に取り組む。福祉・医療等の関係機関との連携強化に向けて、特別支援教育コーディネーターのスキルアップを図るとともに、コーディネーターがその役割を円滑に果たせるよう、特別支援教育巡回アドバイザーや特別支援学校のセンター的機能の充実を図る。

また、安全に安心して学校生活を送ることができるよう、各学校の環境整備や医療的ケアの提供体制とともに、就学に対する相談体制の充実を図る。

・地域の小・中学校における特別支援学級の充実

特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援体制を構築し、特別支援学校のセンター的機能を活用した、地域の小・中学校における特別支援学級の充実に取り組む。

・高等学校における高等養護学校の分教室の取組の推進

職業教育に関する専門性の共有とインクルーシブ教育の推進を目指して、県立高等学校に設置した高等養護学校の分教室と高等学校との交流及び共同学習を計画的・組織的に推進する。

○進路指導の充実と職場開拓の促進

・職業教育の充実

高等学校や特別支援学校等において、それぞれの専門教育のノウハウを生かし、更なる職業教育の充実に努める。

広く地域のマンパワーや、企業の協力も得ながら、地域との関わりを深めつつ、より幅の広い社会体験の場の確保に取り組み。